

■「心を響かせる」部門

◇インクルーシブスポーツキャラバン

「障がいのある者もない者も、ともにスポーツを楽しみ、互いを理解する」ことを目指し、学校教育学類の学生、障がい者サポーターズ Golazo! ベガルタ仙台が中心となり、各自治体や Sendai Forza の協力のもと県内 8 会場計 9 回のスポーツイベントを実施した。活動は県内の障がいの置かれている現在の状況についての認識を生み、自治体や関係者に一石を投げ、「響き」を起こした。また本学の推進する SDGs に直結しており、2021 年度「学生と考える SDGs」のテーマとしてもとりあげられた。

◇吉田 美緒

公益財団法人みやぎ・環境と暮らし・ネットワーク (MELON) に籍を置き、気候変動問題を中心に、小中高への出前講座や一般市民向けの環境学習講座の企画・運営などを担当してきた。地球環境温暖化防止活動推進員の研修、エネルギー消費診断「うちエコ診断」の運営を通し、地域社会を元気にしてきた。その実績が評価され、現在「宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進審議会委員」「仙台市廃棄物対策審議会委員」「富谷市 2050 年ゼロカーボン戦略策定協議会委員」として活躍している。また SDGs マルシェや授業等、本学の活動にも積極的に関わり、気候変動など人類の喫緊の課題に対する意識向上を促進した。

■「自信をみがく」部門

◇とびだせ！ 閑上しらすプロジェクト

2021 年度名取市産学官連携促進事業に採択された取り組みであり、相馬ゼミ 8 名の学生が有限会社まるしげ (漁亭 浜や) と、閑上のシラスのキャラクターを作成した。1 月末には名取市長や商工会長等を招いてプレゼン発表会を行い、7 案を披露し賞賛を受けた。今プロジェクトは(有)まるしげ、名取市だけでなく、それぞれが関連する団体 (閑上 suns、や町内会、漁協や商工会等) が複雑に絡み合っており、学生と教員が関係者それぞれの視点をもってプロジェクトを進めたことが成功につながっており、ひいては学生一人ひとりの自信となった。

◇湊 海人

コロナ禍に始まった学生生活において、1 年生ながら日々自信をみがいた。学生ワークスタッフとしての講座企画や料理企画の企画・運営、聴覚障がい者サポーターとしてバリアフリーマップ作成活動など、自身から進んで実践した。不安や失敗からも多くのことを学び、そこから自信を身に着けていった。またシンポジウムや講演会、卒業研究などにも積極的に参加し、日々自身の「面白い」を積み重ね、自信につなげている。

■「キャンパスをひらく」部門

◇SDG s マルシェ

2016年度に環境マルシェとしてスタートした企画。2021年度はコロナにも負けず、過去最高の出店者数で盛況を博し、足踏みせずにSDG sを前進させた。様々な団体との連携、協力なくしては成立せず、まさに「キャンパスをひらいた」といえる。

◇尚絅学院大学 SIPS 山本 楽人・本間 梨花・佐藤 ことの

文科省官民協働留学促進プログラム「トビタテ！留学 JAPAN」の一環として始動した活動であり、コロナ禍においても留まることなく国際交流を促進させた。毎週の「留学相談室」、インスタ開設やコンテンツ作成等広報活動、海外協定校学生とのオンライン交流会「SGU Spring Festival」をなど、コアメンバーである3名が中心となり活動内容を考え、学生の視点から国際交流を促進させた。

■学長特別賞

◇長谷 航

2010年に自衛隊に入隊。東日本大震災での被災地における活動を経て、幹部候補生学校に入学。2020年度に卒業。卒業生代表として「先人達からのバトン」と題した文章を発表し、自衛隊の専門誌『修親』に掲載された。「他者と共に生きる、他者と協働する」精神のもと、現在は3等陸尉として活躍している。母校に対する思いも熱く、『後輩達の心に響くメッセージ』を伝えたいと考えている。

◇ジラード 美佳子

サンタバーバラシティカレッジで2000年から非常勤講師として勤務し、コミュニケーション関連科目を教えている。シティカレッジで日本短期留学研修を企画し2018年から学生を引率して来日している。これが勤務大学より高い評価を受け、日本短期留学研修ディレクターに任命される。また、インタビュー記事がシティカレッジニューズレターに掲載されるなど、その高い教養と教育力から学生からの人気も高い。まさに国際社会への貢献を体現している。

■同窓会会長賞

◇福嶋 美樹

森川樹の名で作家・エッセイストとして活躍しており、2021年度は第4回仙台短編文学賞で「海、とても」が大賞を受賞。河北新報でのエッセイ連載をはじめ、2021年度大きく飛躍し、活動の幅をさらに広げている。

◇萌江

シンガーソングライター、ほやドル、石巻観光大使として活動。数々のTVやラジオ番組で活躍するほか、2021年度はみやぎ防犯広報大使に就任。日々地元で元気を降りまき尚絅学院大学の「他者と共に生きる」の精神を実践している。2022年4月には河北ウィクリーPR大使にも就任。

※活躍はオフィシャルサイトで確認を：<https://www.moeishinomaki.com/profile-1/>